

新「共通特論Ⅰ」：臨床腫瘍学総論 がん診療における多職種連携チーム医療

講義日：2023年7月1日（土）

講師：柏田 孝美（近畿大学病院 がん相談支援センター看護長 がん看護
門看護師）

要旨

がん医療の現場では、検査や治療が複雑化しており、がん患者のニーズも多面的であることから、さまざまな専門家が患者のケアに関与し、連携することが求められている。それぞれの専門性をもつ医療福祉従事者が協力し、病気や治療、障害の診断、リハビリテーション、ソーシャルサポートといった多様な患者ニーズを包括的にアセスメントし、治療やケアの計画を立案して実施していくこととなる。

多職種によるチーム医療の目的は、各々の専門知識とスキルを統合し、効果的な医療・ケアを提供することであり、多職種によるアプローチによって包括的で質の高い医療・ケアを提供し、患者の多様なニーズを満たすことにある。

新共通特論でのがん診療における多職種連携チーム医療の講義では、緩和ケアの全人的苦痛の概念からがん患者の多面的なニーズを捉えること、および専門職種での効果的なコミュニケーションやチームワークの重要性について理解を深め、効果的な医療・ケアを提供することについて学ぶ機会としたい。